

第2回 香坂山遺跡調査指導委員会会議録

日時：令和4年9月13日 13:00～17:00

場所：佐久市東開館 第1会議室

委員：佐藤宏之委員長、国武貞克副委員長、臼田武正委員、大竹幸恵委員、須藤隆司委員、
オブザーバー：堤専門委員

事務局：吉岡教育長、土屋部長、井上企画幹、山本係長、富沢技幹、久保、松下

1 遺物の記録と取り上げについて

過去の調査資料との比較や、石器群の性格を判断するうえで必要な石器のみ選択的に取り上げ、それ以外の遺物は極力現状保存とする。

遺物を取り上げた場合、その場所に目印を残すこと。

3 調査方法について

I・II区トレンチで遺物が検出されている範囲は面的に掘下げること。

I区トレンチでは包含層の深さを把握するため、中央にサブトレンチを入れて深掘りすること。

2021 学術調査区とIII区トレンチの間の地形の傾斜変換点を確認すること。

4 記録について

古環境データが少ないので、積極的に化学分析を行うこと。

火山灰のサンプルは多目的に活用できるので採取しておくこと。

iPad などでも三次元データを復元できるので、調査区全体を網羅するだけの写真を撮っておくこと

2 埋戻し方法について

遺物はユポ紙(プラスチック状の紙)で被覆し、川砂を5cm程度入れて埋め戻すこと。

4 来年度調査について

2020年度Eトレンチの南側に調査区を設定し、石器の南限を確認すること。

通気口施設東側から北側でボーリング調査を行い、地形形成に関するデータを採取すること。またボーリングコアの古環境分析を行うこと。

地層の剥ぎ取り資料を採取すること。